突如芽生えた♡な気持ち

サポーター募集

中身を読んで少しでも興味を持った方
ボランティアしてみませんか？１日でもOK！

主な活動内容
- ＊イベント告知などのチラシなどの封入・郵送等
- ＊イベント補助（受付、設営等）
- ＊会社に設置してあるお菓子の入れ替え
- ＊子ども・若者支援団体に行き、レクリエーション活動や送迎サポート
- ＊ミニコミ作成（コーナー担当）

詳細はセンターまで！お気軽にお問い合わせください。
tel:077-527-8661
LINE ID：@744qiibz
こちらからも友達になれます→

Fair Trade Shop ねこのひたい
Monday & Saturday
9：00-19：00
大津市市民活動センター
大津市浜大津4-1-1
077-527-8661

みんなで楽しく！！
ベビーリトミック

会場：明日都浜大津１階
対象：生後3ヶ月から就園前頃まで
参加費：１回1000円
問合せ：070-5266-2890
講師：七蔵司きよみ
（保育士・リトミック講師）

広告募集中

詳細はセンターまで
お問合せ下さい

2021年度も「子ども・若者」支援団体を応援!!

大津市市民活動センターでは、2020年度「子ども・若者支援」をテーマに事業を運営してきましたがコロナウイルス感染拡大の影響で、生活が苦しくなった世帯が増大し、子どもの困窮や家庭での居場所の喪失が懸念される中で、「子ども食堂」や「学習支援」の活動を自粛、小規模化せざるを得ないところや、緊急事態宣言解除後も「3密」などに苦労し、再開できないところが少なくない状況です。

未来を担う子どもや若者が少しでも生きやすい社会を目指した、市民、行政、企業、大学の四者協働の推進が一層求められていると判断しました。「子ども・若者」を支援する2年目の取り組みとして、調査・マッチング事業を新たに開始します。企業をはじめ、広い分野の市民活動団体との連携・協働に基盤整備に取り組みます。

取り組みは特設ページをご覧ください→

大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト2020　ご協賛企業・団体

みんなのオンライン教室
叶匠壽庵
小林事務機株式会社
コープ自然派
SHIGA BANK
滋賀グリーン活動ネットワーク Shiga Green-activity Network —since 1999—
DYNAMIC SHOKEN 株式会社昭建
正和設計株式会社
SOMPOひまわり生命
SHIGATAN Shiga Junior College
京都中京区 みんなの居場所 学び舎 傍楽
一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group
BESTパートナー 大樹生命
Biwako Kisen
まちづくり大津
よつ葉ホームデリバリー 京・滋
滋賀銀行 保険共同募集会社 レーク商事株式会社
イオンスタイル大津京
坂本民主診療所
膳所在宅ケア ステーション陽だまり

●発行：大津市市民活動センター（指定管理者：NPO法人HCCグループ）　〒520-0047　大津市浜大津4-1-1　明日都浜大津1階
開館時間：9時～21時（カウンター業務は月～土の9時～19時）　TEL：077-527-8661／FAX:077-527-8662　HP:http://movementotsu.com　／mail:moveinfo@movementotsu.com

ちえけらっ

vol.20 大事な暮らしの中にある
“CHECK IT OUT!（注目・見逃さないで！）”
なヒト・モノ・コトを発信する情報誌
「ちえけらっ」vol.20

ボランティア やっぱり

最初は不安でした

特集：大津市市民活動センターのサポーターの声

大津市市民活動センターでは今年度「大津・SDGs協働支援チャリティプロジェクト2020」と銘打ち、「子ども・若者支援」に向けて、プロジェクトを支援してくださるサポーターを募集。10名くらいの方が手をあげてくださいました。
サポーターさんは、センターでイベント運営や、支援先団体のお手伝いなど、大活躍してくださいました。
しかし初めは、不安がいっぱい・・・
今回はサポーターへのアンケートの他、３名からのお話を伺いました。

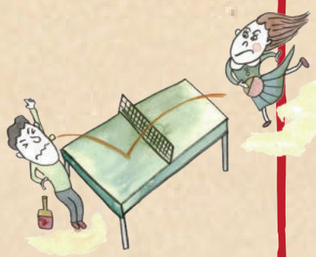
迷惑にならないかな
ボランティア経験がないんだけど・・・
特技も特にないし、役にたてるだろうか
時間の制約とか
何をするかいまいちわかってないけど・・・・

いろんな不安を抱えつつ
大きな一歩を踏み出した三人の物語

やっぱり最初は不安でした

生きづらさを抱えた過去があるから

たまたまボサポーター募集のチラシを見つけて登録してくださったOさん。できることがあったらやろうかなという軽い気持ちだったそうですが、登録の際「**私自身も生きづらさを感じていた**ことがあったから、できることがあるなら関わらせてもらいたいんです」と話してくださったのを覚えています。



「けど何をしたらいいんだろう？何ができる？」と、今まで**ボランティア経験がなく、不安**で、なかなか一歩を踏み出せなかったそう。しかし、「"**子どもの貧困**" という言葉を聞く機会が増えてきて、やっぱり何かできる範囲でしないといけない」という思いが強くなったそうです。

Oさんの最初のボランティアは、活動センタースタッフと一緒にある高校の "**高校内居場所カフェ**" をサポートするお仕事でした。高校内居場所カフェとは、昼休みを使って高校生とボードゲームやおしゃべりを楽しみ、**生徒達が悩みや生きづらさを気軽に話せる居場所**を学校内で作ろうという取り組みです。

「若い子達と話すことは恥ずかしかったけど、高校生達に、こんなおっちゃんでも今何とかやっていけてるって姿は見てもらえたと思うし、**参加してよかった**」とおっしゃっていただきました。

「自分も若いときは生きづらさを感じて大変だったけど、**昔はまだ周りの人が声をかけてくれて**気にかけてくれた。そのおかげで今がある。若い人達にもそのことを知ってもらいたい。また機会があったら行きたいと思っています」と語ってくれました。

サポーター応募のきっかけ　70代女性

「できることを・できるとき・できるだけ」の言葉に私にも出来ることがあればと。四国88か所に行った時の接待を受けたとき、これに感謝し、この気持ちを誰かにお返ししたいお思うようになり、ボランティアに参加したい、受けた接待を誰かにお返ししたいと思ったからです。

応募に不安はありました？

はい、プロジェクト名にもついている「SDGs」について参加前はえらい難しそうだなと感じましたが、活動してみるとテレビで見たり、他でも聞くようになったのでなんとなく理解できました。

サポーター応募のきっかけ　60代男性

自分の子どもたちはすでに独立して時間も余裕もできたので、運よく何事もなく過ごせたことを感謝し、どこかに還元したいと感じていたので。

ボランティアの魅力とは？

少しでも人の役に立てたと思えたことです。大津市内でも生きづらさを抱えた子どもや若者がいて、それを支えるために頑張っている団体の活動を実際に見たり、知ったり、日常ではあんまり考えないようなことを考えました。

サポーター応募のきっかけ　50代男性

働いてる場所や関わり以外での社会・人との繋がりを作れたらと思って。

ボランティアの魅力とは？

普通の生活のなかでは知らないことを知れたり話をきけるのが魅力かな。

【サポーターにアンケート　その1】

Q.サポーターに参加されるより前にボランティアなどにしたことはありますか？

8名ボランティアしたことある人は2名でした。

【サポーターにアンケート　その2】

Q.サポーター募集に応募したきっかけは？

1位　子ども・若者支援に興味がある
2位　自分の生活にあった活動
3位　地域貢献

子どもの貧困は他人事じゃないですね

ボランティアを考えている方へ サポーターからの応援メッセージ

- やってみるとちょっとだけ**視野が広がる**かもしれない
- ほんの少しでもみんなと協力して助け合いができたらいいなと思います。初めてボランティアをする人でも**そう難しい内容ではなかった**ので一緒にサポートしてみませんか？とお勧めしたいです。
- ボランティアは少しでも、私でも、誰かのお役に立つためにと思って、参加を始めましたが、自分が楽しめ、色々な人とのコミュニケーションも広がり、**自分自身にとっての癒し**になっているように感じています。よかったら一度体験してみてください。
- **気軽な気持ち**で、最初はひまつぶし（空いてる時間だけ深く考えなくてもいいから）感覚ですよ

顔、声、左手だけでできることってあるやろか？

市民活動センター主催のイベントで、毎回車椅子から景品を手渡してくれているMさん。イベントに来場した子ども達に、しりとりや絵本の読み聞かせをするサポートもしていただいています。ニコニコ笑顔で軽口も言いながら慣れた様子のMさんですが、**最初から自信満々というわけではなかった**ようです。

サポーターをしていた友人に誘ってもらって登録してみたけれど、「車椅子に乗っている人が**サポーター？？サポートしてもらう側**じゃなくて、自分にできること…何がある？？？」と、自信は全然なかったそうです。

今はサポーターとしての活動に慣れ楽しみでもあるというMさんが、車椅子生活になったのは約7年前。脳梗塞がきっかけでした。「7年前までは**普通になんでもできていた**し、街へ出ても段差なんか気にしたことなかった。車椅子に乗るようになって見えるようになったこともたくさんあったよ」と語るMさん。

「せっかくサポーターになったのだから、**知り合った人と色々話したい**。障がいのある人について知ってもらい、他のサポーターの方たちと一緒に、**環境や社会を考えるきっかけ**になるような事ができれば」と力強い言葉をいただきました。

いろんな気づきがありました

ちぇけら制作と調理ボランティアに関わってくださったHさん。子ども達が小学生になり、**空いた時間に何かできること**があればと思っていた矢先、お友だちに声をかけてもらいサポーターに登録されたそうです。

学生時代にボランティアの経験があり、ボランティアを始めることに抵抗はなかったというHさんですが、それでも初めての場所・初めての人との関わりということで**最初は緊張**もあったようです。

ちぇけらの制作では、紙面構成の打ち合わせに参加してもらったり、**実際に取材して原稿にまとめる仕事**もしていただきました。活動センターのスタッフとワイワイ和やかな環境で、最初の緊張も忘れ楽しく紙面づくりができたとのこと。

また、こどもソーシャルワークセンターで**調理のボランティア**にも携わってもらいました。ボランティアを始める前に、こどもソーシャルワークセンターの**オリエンテーション**に参加。そこで詳しく団体についての説明やボランティアの仕事について知れて、緊張も払拭できたそうです。

現在子育て真っ最中のHさん、ボランティア先でわが子と同年齢くらいの子ども達が生きづらさを抱えていることを知り、**ショックを受けた**とのこと。「子どもにとって家庭がどれだけ大切な居場所かということを改めて知って、こちらのほうが勉強させてもらいました」。「普段の家事の延長でできる調理のボランティアなら今後も続けられそうなので、**自分にできる範囲で今後も関わっていけたら**」と話してくれました。